東京電燈株式會社
社長神戸軍一殿

東電從業員組合大會

「別記二」

東電は金の威力で市民を購着せんとしてゐる！

東電は伏魔殿化せる會社の体面と貪婪飽くなき自家の利益の擁護の為にウソ八百を書き立てたビラの撒布と廣告を出してゐる、即ち會社は「需用家並ニ株主各位ニ謹告」と云ふ文章の中で吾々東電從業員組合の至當な要求を會社に都合の悪い部分は全部削除してさも吾々組合側が無理難題でも吹きかけてゐるかのようなことを書き立てゝゐる。例へば

(イ) 此度の事件の發端である組合圧迫と戦首の問題には少しも觸れてゐない（會社では組合を組織したと云ふだけで既に戦首したし將來も戦首すると放言してゐる）

(ロ) 現在初任給一円十束であるのに壹円貳十束と云つてゐる。

(ハ) 「誠意を披瀝して懇談を重ね組合名の反省を促したるも」云々と云つて居るが、

之は全く正々対にして吾々組合員ニそゝ誠心誠意公共産業の重責を力説して、會社のとつた此度の暴圧政策の撤回を主張したるも頑冥なる會社は組合の切崩しに狂奔するの餘り、全権を頼みとして東京全市を賭黒化せしめんとして吾々にストライキを強要するが如き挑戦的言辞